安郷進攻作戦の意義

掃蕩戦終る

これ以上の力を抱くことを欲した

する補鉛も活激となるわけだが、

福軸地の歐洲大陸防傷万策がすで

筋は九日チュニジヤ酸況に関 【ベルリン九日同盟】頻取司 脳軸山としては郷ノ殿

ことになれば危険が助くなり、空臨海三方面からの揺聴を受け

新防禦陣死は

日本家族制度。小作制度

有

A5判 豫定價約七回 賀喜 左衛門著

中共太岳縦隊

至妙かつ敏速

ある、この

地軍では五月十日午前十一時左の一卅日より帰始せられ九日をもつ

公気を行つた

の強敵措務に依然敬感的に掃蕩中終了せり、また勝条第廿四集盟軍

つたが場、伊州國は附まで東方版 場に重脳を置くの方針を捨てず不

に優として確立されてゐる現状に 治いて、それが反應軸はの世界徹 断にどの常度の登頭をなし得るか は疑問だ

関伊にとつては現在

第七次豫約受付中

**膝本證券京城支店 亞語和富金贝二丁思** 

文化の形成

身書出河 □風·羅本日·京東

フチドンを占領す 突敵を隨所に掃蕩中 

英印軍の蠢動潰滅 敵企圖を未然に撃破

その地乗も結局時間の問題と見ら

燃はないであらう、北阿の競場に

後の個職態の作戯音報には殆ど影一海に生命滅を持つイタリ

とは対偶原面後から非常に聴識の | 二三暦三様が作戦影響の結果、ま」はからした限定された神治の鮫婦どの秘笈の頂蝎を働くがといふと | 然のことだがヒキラー、ムツフリ | あるものだ、しかるにロメル版質

安全有利國策的

G・ヘンセン著 深澤喜平譯

(五月上旬出來)

ドツ國民童話集

房書

本の

は地中海作成を主張することは舊一る補給もめる程度以上は差理へて

北阿敵據點の價値疑問

わけだ、哲時でさく類単智局は配

一族し語部院は長曜延越、九日排贈しつくありたる軍の巨座作順は落定の虹く進一れ、または

國攻職を開始し、対妙なる作成に これに断しわが取はプテドンを ルマ無回を夢見る敵英則出の羅助 江蘇省・河南省・安徽省各北部の【齊南十日回盟】山東省ならびに 四百七十三 四月綜合戰果

十日上後 時門司令部を訪問、 せんとする心死のあが言に外なら れ日本々士への彼ら近野場 米空軍の反攻 はずくて

「富貴=山脇最高に班官旨地にて のもとすでに取め 得地 歌略的にて日本歌をと言う と緊密なる協同

無限なる国民学欺瞞し來つたの 次つて、なすところを知らぬ飲 文機點なりと脳神気傾し、無智 度び最近の一階に ある。藍し耳厥阿魯に阮へを有 完置な言語に叩き思されたので この賦味に於いても特殊大器さ 形無形の打造は最大なるものが

南北太石山脈の戦艦に展開され つくある新作戦及び韓西軍匿に

観々の大阪県の中に籍を収め

られてある。かくて北印文に帰

說社

蔣共軍に膺懲の鐵槌

青木大東亞相、ボ

JL

ネオ視察

**W**这是失业 された威廉語の連絡不統一と政権民の 快なる本作版の一大収穫ともい 學

勝直系域並に中共軍の衝撃は自

官信に立つ自場的は見がこくに

間に過ぎでるものとなってるを

なほこくに注意すべきに脱光

って、推廣されたが関連関係部 れも耐酸である。相関母派によ あとにせまった。逐題が場は何 府邑回密議員の選挙が同日の 立候補辭退

級は国路兵に心からなる威略の 由立候補者の蘇退を数人ならずかな眼を投げてゐる。この間自 推順候補者の一辈子一投足に耐 何なるものかを真に記聴し、 あるわけではない。 しかも新退 聴くことは極めて愉快なことで ある。自由立候補は繋ぎられて

とする心境にたつたことを物理

の運動放験を張り、従來の選舉

大本營發表(五月十日十七時三十分)帝國陸軍部隊は五月八日十九時マユ河上流プチドンに突入 第廿九集圏取の側背を断くべく去 【洞庭制館〇〇前級十日周盟】数 | な選字なり間地區に彷徨中の效第 | わが後面部隊の神出鬼後の活躍に 20年の州道を連ね洞域湖を接続 四八九)置滅せる敵師籍施設、敵兵力、一三五、二五一 (二四 青木大東亞相 敵退路を完封 14、 洋砲1三四十、 洋砲1三四 第世九集團軍最後の日迫る 元分安都を攻略して顧問題を帰じたのの部隊 職物能は十日安都城場において今 東では大きなのでは、 東では、 東では、 東では、 大作成の就能となってたのの部隊 大作成の就能となってたのの部隊 大作成の就能となってたのの部隊 口の三仙湖に向け九日午後上陸し これに延改を加へつくある 巨六十、七十師二千の退路を完封 周章狼狽なすとこのを知らず破第 今次進攻作戦はその計選至がに関し大製左の如き談話を優衰した を働くらの』と越し、十日午後七時世分から大裏立の如き放送を行 また一方天心間より九都大河々 奇遇別幽除は九都大和を遡江、 【単京代話】煙筆航经本部航務課長内田厚生中伝は『アメリカ本土 たるため酸腫を「かねて豫策してるた作城だから今」あったところで、アプリカと知中「ブソ欧の観察を綴くことが先決だ「外に出て顕紫ূূূূ 行きが現代で動却的成功を「光、第二に照照総差も高度添ひしの働きの成立し うれるに至うたが、これな観歌館が「とは背戦弱値後から非常に腹脳の「二・関重戦が作戦弱跡の総典、ま」はからした限定された神治の戦闘」に順用出來ることは第2人なじ事質のをして、東

上を衝く

一師の主力を猛追中のわが結戯の一

一師潰走

戦勝の鍵は航空戦力の充實 ▲文那方向、展墜十、軽破一、計 | 合訂、整墜四百二十二、 ンダ海すなはらチモール方面

對し國土防衛にも道像な岩を押し 二十八、総前六百五十機の銘言に

【札幌地面】光潜水橋の本土砲域。幕代に関して北部軍防備給課は十

部軍防衞參謀談

我はいに公然のずに入つた文那

殿は他めて自座組に推移しての

る。選集民また騒がず、動かず

**人陸に勇士を置をついける第一** 

地方議會に適した人材だとは思 に渡れてゐると思ふ。然しその 殺々は推照候補者のみが決戦 それは一個人 要談したが、賈光外相は東條節相 首相と倒見、約五十分にわたつて 【東京電話】取光外祖は十日午後 時半から前相官邸において東條

に國際情勢報告 重光外相、首相

対し海上より酸器水酸の他にありたる

敵の狙ひは神經戦

【札楊起站】北部軍競發

北海道東岸牧場砲擊

米英に快勝す ることは

八四新山外路本京東 閣書

敗敵の背後を衝く 長距離水上機動戰

狼狽して盲波法の乱射を沿びせ

は我國の少國民に盟邦の國民性を面白く傳へてくれる讀物知らず識らずの間に獨逸精神を育成してゐるといはれる本書見から聞き親しんで來た真に獨逸的な童話を集錄したもので見童。一般家庭而——獨逸全土に傳承され獨逸人の誰もが幼見童・一般家庭而——獨逸全土に傳承され獨逸人の誰もが幼見童・一般家庭而——獨逸全土に傳承され獨逸人の誰もが幼見童・一般家庭而——

日本の滑空飛行清水六之助著

ガ三千の敵は南縣危ふしと見るや

八日朝以來九郡大河南方に向け

した後国部隊の北上に逃げ場を 見して資産したが、同庭湖を機

ひ、南殿西南十キロの荷藤の竪

のサル集闘軍動滅敵に突動登場 後から果敢な奇異上陸を敢行し、 した水上機動部隊は九日敗後の背

部隊は海上の川陸を極戦するた

原じ院に敵を聞し、古一職杀國はその尨大な工業力を適動一第一級航空版士

航軍陸田內 送放長課務

の一大型素だるには適いはないが 米國本土上空 を踏する 級機数機を緊縮したことが判

形年のボッペき組で ワイン地區を練聞した話十日 【リスポシ十日同風】メルボ ウイン爆撃

大東亞斯令 (子自) 領羽 英田多窟 任六東並嗣近旨 (四) 總務局總 出版調查官

する準備」等協議『徴兵制實施に關

**車前一、剪務劉東一、食原問題一、朝鮮の簡託制質所に関する** 一、朝鮮の簡託制質所に関する 府東京出版所の共坂所長・北村同 等の層問題につき歴政協議をなす ことになった、朝鮮側からは感悟 「配海軍、大災阻省、 類数質、淋 任領部(四)開京在勤を命学 参一泊の上十一日入城 参一泊の上十一日入城 消

鮮國民文學

東 朝鮮文人協會編

振替東京五三二二 平 京 · 小 石 川

東

京

開

成

館

生活の科學化の喧しい現今に於ける一讀すべき一般向書に下の一部一種と同じ、田の一部の一部一個「田の一部」

一讀すべる一般向書 何・五〇 〒11五

説的に面

を顧问した朝鮮文人協會の物質せる本時は、確々の問題を呈出すること座信する。本書は朝鮮文壇人の代表的な傑作九點を載めたもの。四鮮文壇人・評論家その他の文人本書は朝鮮文壇人・評論家との他の文人 おり判・三大〇貫 定位二・110 没料・1六---

ふ志 **兵** 大村謙三著

戰

ひ斯く警つたことを眼のあたりに傳ふ。熒察の徴兵制の倭破を新にする脈筆文學の白眉・化芝動都に浩耀した一朝鮮志願兵の手記として我が顕春初の事の。朝鮮志願兵は時く時 定價 - □O. 资料 • 1六---

**東亞同文東亞調査報告書**上海東亞同文書院大學編

**學々生の各地に於ける苦心の顕意を集大成せる一卷である。 野々生の各地に於ける苦心の顕意を集大成せる一卷である。** 各人5判。兩人。約九〇〇頁 定價各冊七。〇〇 昭和十六年度 刊新籍書都東

四一八甲 定價二圓 治學

烈式 市半 本太

日本精神・回教

定價二圓

雨書とも書店に品切れの際は直接發行所へ御註文を乞ふ

# 鐵鋼の自給自足に 薄板壓延設備を移駐

「フェノスアイレス九日同盟」 ※ からつてあるが表る四月廿八日の「フェノスアイレス九日同盟」 ※ かと郷魏者にも近い総大なる権力

英紙マンテェスター・ガーデイーをもつてあるが去る四月廿八日1

英紙米の政策を暴露

後に二黑幕内閣

而して含含の「優勝材勢約片の「敷は二四四、七五%と割月に比し ・ 大三%の爆戦を示した、内線 ・ 大三・ 大三・ 大三・ 大三・ 大三・ 内線

862 左の通り 【基準昭和八年平均単位

所で他はいつれも保合、整平均折

町等のための観状ついで開

朝鮮金融團大會 來賓の顔觸れ決る— 腾貴品十三種

用質の解、例は影響あつて温虹に の本所な品頭具など來致多數 銀行される、大会は

**水に吹ぐ重要感衝物として、また一つたともいへよう** 

かくて政府は誰く對外依任形態

しき時間酸薬としての新傾命の頂

食糧としての蠶糸

蠶糸業の新使命

決戦下重要性を帯ぶら

畑増蔵への要談に拍車を加へられ

竹造への要結ら拍車を加へられ、他に派出し内特別域とその関係登り出来場所の認道を構像とし後、磁光関係開発を登成してこれが整

特約店の整備朝鮮の特殊鋼・

個数を考究中の模様であるがしては既に或る程度これを認め具 言状態でなく、その原因の一つと しての木材需要増加、ならびに綴一あるが、大陸方面よりの生文も役事総力来重需進船及び生職用がと一らも木材の利用はとみに高まって

いて小概範囲阿別のもと、内地側日午前九時半から記録大器堂にお

用材の需要増加

資源の培養に力を入れる

官、上離が番別者、帰田風茶間」に要求されてあるが半階の動物は、 ・ 理報史、比較新物体管、は要洋・間に選集し、機能の関係迅速が切象 ・ 現ま史、比較新物体管、は要洋・間に選集し、機能の関係迅速が切象 ・ 配出初奏

輸送の場面と共に決して湖足すべ

朝木社で便法を考慮

組合のジエームス・パツカン、

| 七三日より明かれる金融戦大権に、整徴してあるといふ事物にあり、| 食マニラホテルに向った| とに就いては実定美國中であるが | る貯蔵部がは金融組を全域的に のも町政威部美國しの自動をしてあるといふ事物にあり、| 食マニラホテルに向った で設計の方針も必ずしも明確ではなか、或ひは自己顕著を象盤とす。相は飛行機より降り立つや虹改管が重視ない方針も必ずしも明確ない。大変和の方針も必ずしも明確ながまます。大変和の方針も必ずしる明確なが、まない自己の記述を変数とす。村は飛行機より降り立つや虹改管が、大変和の方針も必ずしる明確なが、大変和の方針も必ずしる明確なが、大変和の方針も必ずしる明確なが、大変和の方針も必ずしる明確なが、大変和の方針も必ずしる明確なが、大変和の方針も必ずします。大変和の方針も必ずします。大変和の方針も必ずします。大変和の方針も必ずします。大変和の方針も必ずします。大変和の方針も必ずします。大変和の方針を表する。大変和の方式を表する。大変を表す ないので、本格としてもこれが狭一つかは個戯であつて、朝鮮に於け、パルガス長官らと選手を受はした。

の申込を受け、本府では目下これ

かえる策災の増大に蘇み、伐材・無燃の質別は遅かれ早かれ必至とかえる策災の増大に蘇み、伐材・無燃の質別は遅かれ早かれ必至と

施方面原派町前殿部、村田町政副 パオを出産、十二時二分マニラ東 配察中の資本大東亞相は十日朝ダ 【マニラ十日同盟】南方各地域を 青木大東亞相

問をはじめ近政監部各部長、 随を投じ無辜の民衆教名を負職せて九日午後トンキン州に自衛戦数 盟」佛印質局競表によれば キン州を盲爆・トロー

脚は船と、組織田なるに、割し関い脚は船と、組織田なるに、割し関い 四、反常收繭滑は内地は十六日五地は三反步、郷がは一反歩

の開館」に選手のた

、総議を享くるのみならず凡ゆる化が故に決定的治淋剤にして全治療 内服のみによりて淋剤を完全に軽 というない。

に應用して卓効を奏す

(症、化腠性疾患) 《人物》 《 化操性疾患》 《 化操性液疾、升骤、 取血症、

サ十百二 五五元 五五元 九八八八 八八八八

1/2

À.

至難

一方では 郷頃の勤英上陸の 可能

性も多へられるが、後方に巨大な

本社寄託献

▲現在中地二十八個八十號(二二四五份人)

川崎重工業新株を推奨館面のの

町冷明府城京 . 證 田 秋

を海洋

(談對)

五五一五②表代話卷

を判断し問題の解決などを作上げ

型 内閣そのものが数点に依つて組織 げ、されたものでなく配牌にはか、る し、鑑販的な機械が必要とされ、しか もこれの方がより機械を登距する のを5う

日本美術報國會への要望し

立確

Щ

9[]

殿过を來し、その適正配給を受

宮城、明治神宮、靖國神社、福昭、出雲大社等で、

長篇小説

洋社

北関域人とも思议して内解説脚文

一種の興行化した野 職場単位で、

たんだい。とこを受け

自らの道

歌だって

普銀の業務兼營

鮮内は早晩實現せん

十七日總會 關係物

てこて、一時代を動するやうな楽 聖地へ参拜

関語はを組んであるが、この週の

後してこの週間中各映議師で

京東寶 和井秀選 演劇文化協會 記し白系は大映作品『海のかば』

容の死て妻が祈も全く権えなたたの関子命も後退ひをせず 文化だより

優

萬有

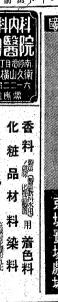
期的新劑の出現

四种工人年民事第八三年 公 示催 告

○ ナー日原協聯級をあかつき。 五分額々大陸々で入城。一泊の 五分額々大陸々で入城。一泊の ・ 上十一日原協聯級をあかつきゃ

龍













旅

ミストロン学館

上松內清 別村山農太

雑誌 淺井 英夫 匝 瑳 胤 大

齋藤

茂

吉

戰と秋山将軍・

收め、消費計選の影翻選行を確保

**飜然悟るこの錯誤** 

派型軍営局談を發表した

活師および星術技術を数へ込まれし

訓練所修了式

笑止一敵の盲砲撃

わが決戦態勢搖

45

方面の住民も極めて平郡を保つて一

然は聯かも搖ぐものではなく同の難動によつてわが銃後の決策

くして郷賦以下瞬志淑人の東軍

大山相殷氏潔く自由立候補を撤回

で褒美に大臣賞

ころにまた一人、属出た自由立

に御親切に忠告をして下さつた下さった方で、今回も直接四路

並訓練所に明れて入所した昭和十 年十二月選ばれて陸軍兵特別志師

【東京総書】本族増配職保を目指 木炭生産功勞者表彰

人三の郷で選ばれた北報道十勝 開出川本州町本州町本州町泰賀行胡 育成が百三十五四間、北海近面 ・北海近面三十六名 の経秀型突治で御料林木深の生 海神に三名、個有林脚を持つ破別 高年に三名、個有林脚への破別 高年に三名、個有林間への破別 高年に三名、個有林間への破別 活につれては各様林局幣内の破別 で、近れる 【マニラ九日同盟】比断派戦戦で 科島技術関係の教授だちが象牙の「成大教授職の意識する総算なる制がの日素判工具部長以下中堅の「総管肝は無酸離力能に困ちあがる」 城大教授團で増强の研究機關設置

合きの第一回打合質では、城大

正

47

戸籍は國の

礎

問 第四日

二回郷伽打合商を十二日企選挙で

一切が中入れた生産地位連絡委員 も憲漢して半路生産網灣分野の 関とすべ、高記宣案を選上に、罪なる生産 関連所用ではたいとなる場大 あり業が上の連絡等を構造していた。本形との連絡は大側では本形の の意見は一致 の意見は一致 の意見は一致 の意見は一致 の意見は一致 が、本形との連絡等を構造していたが形ではこれの機構を個人 企業参りとが、その後級大側では本形の 所な業務語経験にして真に半路波が集まった。

的な影券記憶派として真に半部设が集って敵々最後的な打合せをとこ、に本形ではこれの機構を借久(企業祭山名書記官ら、本府關係密

大、本府の運締関係に相當の関東

も認めざるを得るるところであ、「マニラ十日同盟」比略式政監部、おいてはわが対院船を飛行機また。 物のところであり、敵米英さへ 十大名(決まる 名を挟ふべく歌起となり、鉴定に 半島の生産推進體誕生

の一部一時から第一(京城府が北陸里)。第二、不恵、阿鵬城所とも庫かしき、第二、不恵、阿鵬城所とも庫かしき、 比島留日學生

ンロモンに、 的のためには手段を選ばない暴寒

【東京電話】一は潜水艦によつて歌略するなど目一

共同主他、然後形、京畿道、総力職 歌 明 (ひき落し) 太平山 | (ひきり) 一 変 | (なりきり) 一 変

では、 ・ では、 、

轉通知

· 振转剪京一九二一五番

致候間此段公告候也 十四日より事務繼續可曾事務所を左記へ移轉

一、旅 法 費

緊 急 · 募集

鮮米穀市場株式白社 吾虫駆除に 其ノ环南ヲのド回政院 郷に終了ノ日とは武ノ漁機ニ依ル医療 及作り権が対け、中国生 角腸薬 (育ニ店機・合組調金) 

一直つて全國的に展開された 国 照を目ざし去る一日から十日間 健民への錬成を怠るな 武井厚生次官が一億國民に要望

者の脳位を足め第一位を官公署と

から受付を開始したが京城中央領

時から芝區田村町飛行留館で「籔れて一周年東京局では一日午後」 兵制質施決定一周年記念轉導員總

【東京高語】朝殿に衝兵部が布か

八年度低高至急開通申請は十日

ウレル(エナー)君も含まれて「午前九時宏路〇〇に向った内務部長官の令題マラクー・ラー

町病院に白衣野土を専門ののち、の一行は十日午前八時より費地陸

申請は二割減

【ダパオ十日同盟】青木大東龍相 ダバオ陸病を慰問青木大東亞相一行

一 大宮は次のやうに語うた 大宮は次のやうに語うた ・大宮は次のやうに語うた

大相撲二日目

クロダ歯科

て行を避け十三日午前七回前に出席、再び領成所 は、 ・ は、 、 は、 を表現して

決命百定

成の記

効能で賣れる 津表 新

本家セシンや伊藤 長兵衛

食糧問題があるのである。否が朝

野の阻獲は池沼の干澤に成は叉腹穴なる耕地を行し加ふるに休

存じます。一三の当項を取場げてみたいと一第二級に策略される野土の御労害

創意、工夫生か

きることである、梟威臣民たるの その第一は、買に最関臣民道に生

ずるのである、第二は人の和合で

むることは戦争送行上の切覧無関

銃後にその補給を遺憾なからし

こそ会力を様けよう、と壁図述五月の質徴45年の本領に、さむ、勝ち抜くための地面に今月

四級等が長期化し
域が搬大す 國内の自給に使づの要 てゐる狀態である、本年こそは幸

農民魂今こそ發揮

込む一致一致が、光の一年一生が

作業の様であると思ふのである。

見ることは出來ない『天の理人の

るの誇りと告近域さを取つくるが、部長台麓が開催されるが出間の獣「磔、蛇成所長田中政務郷監の渡駅れ锁へも下さの方々の鬼場誰民た」[、十二の附出に違って登戦歌級。郷斉鰕成所で「鑿かに「鰕成多な場所

この意氣で挺身を禁部長

北田二越社長急逝

一関八十銭・送料十五銭送ましくも明明な海索設定を以て、決戦下の演奏設定ましくも明明な海索設施をよりすて、工作機

大日本雄精會講談社

其人物程和三統公 出發豫定日 面 接 期間

解離八年所 選 職 業 紹 介 平 壊 職 業 紹 介

土荷校園、駿資制トロリ郷コンクリー土荷校園、駿道工業株式智郎、原介園 ギロツコ昭

上作機械整遇著

所

本小説新書は、

が受賞と派行うとと。 「私時下属民で獲りの樹立を目指して 「私時下属民で獲りの樹立を目指して

の豫定。

未講座

既成就取扱小賣商並。購買會、殿朝鮮既成靴小賣商組合聯合會

8/3

Harten 九二七南部・三七九阪替振

阪

野土を強く十日京城部開場に同間の運動を練行しらなのが土もた。 丁子屋が三回原生運動がは白衣の「鷹四百米競技などに、歌画・家族四野社会の「原子」の「東京」の「東京」の「東京」の「東京」の「東京」の「東京」の

語さ級別名の定用英語は反列子園・語言条頭運から競技が始まり資場 國民能職、小林社長挨拶ののち男

レル「震覚=自次の男士の弦信

野二級院六月六日から六日間、 第二級院間七日から五日間初夏 の心場よい微風なうけて生涯網 一口に居口と同じく組造した間 では、

續

く赤誠の

花

束

匿名女性よい

クと

梁津・仁川に開催・この冬 陳列金は引煙ご安國町、電

の人気を呼んである、質物

の証明が続けられる「寫實

は是非無難反で

服多にも大丈夫とこと形民

日迄凌金町入口脱湯で開

エイツノ負けないぞ

本場所そつくりの豆行司も登場

白の郷を締た望力学が主後上 職場内はシーンと暫まる、紅 機能的な秘密が果がる、京城

節何相撲大百を翻下げて十日

にある、正々堂々の取びを指 午前十時から同窓相換場に開

宛ない相撲振り、皆つたり、 京師附屬國民校の節句相撲大會

と脳示をなし、三年以下の紅 つくりの魔戮たる姿の息行司 が近回版をかざして構へ『五 に見合はせて……」サツと風 東部の国際の国際であり、一般である。 一般では、一般では、一般では、一般である。 一般である。 交兄席からもワーツと物でいて記憶の熱感の熱感気りに関数の な差徴感の熱感振りに関数の はいたり、うつちゃつたりで がつらりと双葉のうちから培 繁級だ、健長健民の芽生えば

下八日(第二回廿五日)兩日に買い來る十七日(第二回日廿四日)

チフス豫防 東大門署管內

所署衙内の膜チフス豫防注射

〇〇 (大) 日本神路本〇〇 (城) 仁婆の話 (鮮) 仁婆の話 (鮮) 仁婆の話 (鮮)

京日案内

のラジオの

日) 崔汝成(城)大等獨奏『平關音 日) 崔汝成(城)大等獨奏『平關音

新しき任務(十二) 人いなる祭 もう一つの仕事は、日本の内地人 三芳 中野 悌吉(繪) 實(作)

東局(5)一、七八六番電話開通

宫和近江 現住

M

新記割三元ハイ

金思那內科院室完備

船舶運營會等支部

中 1日上5六日間 田道浪曲の第一人記 年 原。秀

夫

大大 大学・10年 大学 10年 大学 10年

等は見る場合に変形の方と、中で、北京が出場の方に大十一名とスト採用

大阪商船等文店等於可以

記号は、<br />
新日攻跳を、<br />
日本の外野<br />
混長は口をはさんで、 には、明綜、台融の風習風俗を固難問させておくことである。それ 縦感、 台歌感を抱かしめることで 執せしめることに側面的な運動を 朝鮮、台灣の人民とを感情的に それ

におけといふんだね。

「おうです」

ででで見ると別類対対でではは、 ・一道・一次四条治(江陵鶴)★見 ・「東京の大学・「大学・「大学・」

等は仁川商業

第十二回

學校珠算競技會

安置第學校珠算競技大商は去

午前九時から 同核跳並で

既技は先づ學校 一般百七十八名

朝口性病科

学佐美の開催した代表を図明るるの日出版製品の開催

世紀をは國のだ

新聞九五

面一里六

明治二丁自治四

と随受は、鍵で批をたくいて、

を遺憾なく競弾して白熱版を派放競技と選手は何れも日頃の腕

ひきかへ、水のやうな冷たい感謝とは と、叫んで配上うた者があった。

では、三番

明治第二十月110年

的一日七

経測がどう

福品 八二

命國丁具

日本の縁戦、アキレス第500円見を一寸申上げる。朝、高越はすでに追屈を始めた。 と

る。ヨーロツバに於ては、われの間の援助がに見逃すことの出來ない新質であした。よんだ べき朝鮮と台機が、志院兵制度を

省天

五要第**再** 



古本 高價買入 金剛堂書店

11/00 17日であせる

も聖ニュ

德

製脂100

『命令する。君は、朝鮮に潜行』

認意興日を期して二個総署を封

節は陸軍へ各人献語するやう客 郷に海軍武官府へ、また衙門等でが十日來社、古銭千五十一枚と一

れているが

明显に入ったが、国土協資学は陸近

題材に網眺が作るが、悪宮町後変 職裁グ若言語がに出演の知出定夫 常田崎氏等の一行は十日入城・

制施行の景話な精神の開動を

ある。

演者一行入城

した、なほ同日本能へ寄せられた

/大上告いた匿名献金が朝鮮田

敬させてあるが、今回は

持ち寄つたり

形内後器個民暴梭兒道一同は各自

赤誠の山を築く

社稷町内の自發的献納

一つでも刻くの無能や臨床を第一一町郷盟では去る三日から網路組織で高力で基実体でりた金属来域、金属回収組御を頂印、問題はの行を開端しまる三日から網路組織の名を開始しては去る三日から網路組織の表現の表現を

翻や概氮を蒐集したところ班員選員を助員、町内を巡廻しながら買

迎へる『戸籍製質屈出張問題問』

に概念を押しつくあるが、三たび

一一伸べてある。

ほか自筆不能の無処者に濁して負が燃口で様式を禁切に指導を

に呼びかけ戸路及び寄留面の整備 形永登浦出展所では、個内の整國班

の自後的散納によって忽も赤賊の

餘戦になり、近く京城府を通じてあり、意徳大戦あり、ざつと一千

皇國農道に精進

の修測にいえしむこととなって

なほ各班の緻質部別は次の辿り

京農校で今度は緬羊の剪毛作業

数の徴長側遺跡を四年に控へ京城一

六十二名を励員して京畿道各部の

六十二名を助けして京徽道各部の「左鎌和春の墳ँ蔵門三頭勢作業の六京城場路を複では光正路影车出国」田代作業に従事せしめ、監務修業

を流したが、今度は単純資源の花

ユ手生世六名の土の歌上を二既 ととなった。それには同校音磁料

の臨時總會 では歩る九京城愛馬會 京城愛馬會

場登號符度硬式本日純 3 2 J 中 2 1 數 歌 歌 蔚 硬 硬 (3B)(2B)(B)(HB)(2H)(H

平深、金浦、坡州、長副、同最州、瀬川、龍仁、水區、窗川、 班(六月七日より十一日迄)樹

近内の砂南地に出版

白衣の勇士敢闘

屆用紙無料配布 永登浦の寄留超強調週間

軍愛國部で感激の調査

ある蜀ソ世級が、蜀進仙の沢 終れば、われくの運動が成 といふことになるのである 呼ばれて、今一人の役前が一

タイピスト紫虹の歌が一人八一覧記光上記四番

文代記載 くもと くもと ちゆうりつが ちゆうりつが 日本ニュース 一本ニュース 170 年703 年780 1770 年703 年780

验到了自由

朝熊と台融だ。朝鮮のキリス

業

貸衣裳郷屋

日本ニュースの一日本ニュースの一日本ニュースの一日

アサヒ

方を入れて、概範回避に誘導したければならないと思ふ。つまり、

署は、台政に指行、準備につい ●新刊紹介

(前の時間上後五時至七時)との一次の一次の一次の一次五時至七時)との本様で 

新本計理事務所 會社城決算整理立案

**田産婦人科病院** 「田産婦人科病院」

生 150 以の 150 以

林疾にコノフアミ 酒井婦人病 

舘中場

**命文全艺杂言废告废告之**》三步三步大学新了新了安了朝了阿了江王近马璇子松马梁学山之山之山之草之栗子野子野子梅子内子上之夏寺中去柳子南子中五高名高金大乡伊子神?金字加为加为小士李少李少德号德号声下伊子石号伊子开了石子在了 

ルグSGD単つKDC 第一 平松食用芽栽培所 平松食用芽栽培所

おいしい茸が家庭で作れる場合用質問語手具、野村久子県の経過に関いています。 東 の人工栽培 (16 物入土) (16 物入土) (16 物入土) (16 物入土) (16 物入土) (16 物入土)

村、久子

を治すには

開節ここの

できた。 中尾本の方や御心配の方や御心配のといこうりお用 本家の国家の人り

珪藻土戸の 田 窓山村祭町一二 商

の野高等無 大会認のキノとまるで強いが表示した。 四-八 門 安 十 何 日 5 5 5 6 6 全部殺すノッター回の使用で ルンケーコ

人皇陛下には今殿文部省に開催のと常々製庫を垂れさせ給ふ

吸収長回認に登集した阿郎文

課長同行し朝鮮神宮に正式整葬で 滅信局長は何隆に先立ち橋本馬務

# 施策遂行人にあ 小磯總督、力强き訓示

落、兵十一名。一〇版市民三名於死 マ市上空において四年機一台が駆 しした国九日米的陸町省から被変

一【ブエノスアイレス 八日 同盟】 「家族に十萬レイを寄附した

農民の

困窮その

中共、軍政兩面に破綻

質部集圏軍や高祭業集圏軍が河

製造はが何ともなし酸く、その政新政権の强力な政治力、經濟力の

しかし間臓な言わが勝潤作験と

るといふ歌にあるが太行の戦略に襲うて別思的であ

てある

香港ドル使

用を禁止

が近常は整価であった

世四歳場賦機はイムベドクルなら に反植物氏を繋出した、反横軸空 ゐる。南部地區においては局地的 するいとして頑強に敵地 の中共の最も<br />
得意とする<br />
がリラ酸

際は質器に総し中共の財政兩面

わたる全面的破綻を如實に物職つ

規定する香港占領地総督行内通

軍票割否地ドルの公面交換を

毎時による音響通貨の統一を一節烈な際間を交へ、寸土も数に使

內 容見本無代進呈 東京前邊際大學刊行會

米大型商船四隻進水

に活動してゐるルーマニヤ兵士の

一を獲得し世界制能の野鼠を逞しう 府は太平洋ならびに大西洋の問題

ショフ氏が任命なれた

選氏は天長の佳節に當り、前級

【リスボン九日同盟】アメリカ改

米、葡領譲渡を交渉

【クイビシエフ九日問盟】ソビニ リ海運人民委員更迭

ト聯邦派並人民委員ドウケルス

するものがあつた、一方以民治安

超四への遊響や治安圏の擴大によ

駐副帝國公便商

【プエノスアイレス九日同盟】二 | 共同晩級に立たせるため今回示

ランド師脳タデウシャ、コステニ

【ベルリン九日同盟】プカレスト 筒井公使羅軍に寄附 一萬五百トン級商船三隻が鍛水し

路路したといはれる。四軍損害は八日東部原線で赤軍機九十二後を

九日正午の發表によれば獨空軍は

【ベルリン九日同盟】 郷砂大本館 一ブ・ウェルデ扇を狙ってポルトガ

ず民國行八年には、〈洋似一元に図

国際共産の常先性助が限が可じているて併りをすべ 田長 選子! 祭青少年! 農村、都

の誹義録

赤機九十二機緊墜

してあるが今回ボルトガル領ケー

シコを縁成するに必要なる援助を

米陸軍機才市で墜落

員會議は九日次の決議を採磨した

「モスコー十日同国」フ願人民委 一萬六千五百トンの大郷融融の外リ際に、近師 鷹編成 ワシントン疾総=米海軍委員會は

ソ聯に波師團編成

半島通信

的「樹粒飯皮、遮信所名祭に属し続き、佐藤一力強き減ぶ、石田盛信が長の微鏡」、が 機制に即應せしむべる具態的方案 を行の時局の深化に伴の決敗段階 一後は薩場を遜信事業會館に移 成すべ言憑信従業員の自催と

化地帯は今や新政樹下に明朗築士

して甦りつくあるが、省域赤色

省東南部より省境一帯にわたる赤 十八集勝甲魔滅作職によって口四

接無難を持ち抗酸資材の給則を即

くまで頑握な赤色美力を塔はんと

**塗着してあるのである。 また中語** 治力、經濟力は終次順環の淵命

する理由はなく殿村經暦に惠まれ

用を製止し軍票一色化を融行する部でに六月一日以降香港ドルの値

基礎の限化により更に一般と顕微され新生者権の建設は通貨金融的 であつた香港通貨の明別化は選成

の主張支持

の歩を始めることとなった

【香港八日同盟】香港占領地感播

化達成さる 通貨の明

れによって香港占領以來の脳系

否認か 反極軸リ聯

ぐ赤色ルートを持つてゐるに反し 山西、河北省境に帰居する、

太石山脈の戦艦に展開された第

じ脳安政府と地理的に軍事的に近に曝されてあたいもかも彼らがあれ、山西北部ならびに祭哈爾を通っ九抗殿をとられざいを得ない條中

昭和十五年七月に成立した晋記書 漫画すなはち太行町區を中核とし

職は十二日まで避行されるし の武器な客中が行はれた、なほ留

泥沼地帯に敵四萬

今次作成にあつては轍はわが出一郷を手中に収め、理にその外側を

迂廻して蜀田湖に突進した00部

が鐵環に殲滅迫る

北岸の敵魔滅魔は行動閉始以死働五日突如火盛を切つた今水洞延滞 第百六十一師を短約型の半ばへ通っを交へるなど伸り離い勢ひを示しが掌中に届し城第六十七年および、夏夜に亘つてわが削坂部隊と破船 【湖南前級九日川盟】 蛇牛の餌何 入り数の機関要価はあげてわ

= けふ地方遞信局長會議開く

5込みこれを北京語の三方向いら たが織のこの抵抗こそ、わが望む

早くも腹背を繋がされるに及んで 區の敵迫もわが安郷攻略によって さしも頑強を極めた南山、南城地 寒にわが緊境内に包み込まれこと ある、かくて南山、南脇を中心と 機を打ち込むことに成功したので 際とともに敵中核戦地深く强力な

化が要請されてゐるのにかんがみ

たが、封護新政策の連かなる具態

死大東西戦争完逸への協力任務を

全國的に遊成するがためには今後一

と打合せ中であつ

地では天戦を特み戦地を死分し二 に抵抗し特に難容南方の南山の山 反響作戦温度に誤職し各所で減弱

全國師範學校長に賜謁 文教へ 0 叡慮 猛隊を加へてある

「東京電話」費くも決戦下文数の一に乗し塞つて恐怖のたすら数資利」な言を企図して、師範路後の専門 きに皇國末曾有の強展期に際し 以來その例を見ず、文部省では古 | 深端仰付けられたことは感間頒布 | 師範恩校長、男女節長を動任、ま | 國を務の率り、深い感謝の狸に宮 | 程度昇格を動行、去る四月一日よ 今回の好く全國の師範型被長が 師表育成に西全を期すると同時にリー府殿に一枚男女部を依頼して 別に戦補の陣を布げたのであるが 開かれたが、第一日の十日は阿部 長衛巖は十日から三日間文部省に 【東京電話】解格後初の師歌學 會議

狸に水産戦智所に向はせられた 吸なく御見學めらせられ、阿船士 側のお午後帰時五十分諸貴の密送 柳十時宮中に参内、天皇盛下に拜

御殿友と御一郷と深川區域中間の「博明王、王世子本次兩艘下ならび年に御在縣中の景太子雄には十日」させられて御の憩の御後、伏見宮

行客あらせられ、決脱下海負親一等の初等科六年、五年、四年衝撃

(東京信託] 寒間院初等科第四星 | 梭長初め駿台生徒らの響班をうけ

東京高等商船へ行啓

殿下には墨客院の制服も御路々し

石川修育官以下を従へさせられ

操帆訓練、短距数練などを御東深

る同校生徒らが緑展げる練習船の

御熱心に約二時間にわたつて御浴 類の標本、魚介などの各種施設を で國民教育關係。原項の諸問題につ

らに地上徳火によって三機を撃

変素を阻止するため、新数様 を採用し米容里の意義に出で

ストツクホルム九日同盟】

多大の耐果を繋げてある、米 空軍の大線隊が顕銀占領下の

における郷軍の攻跡は、日を追つ

がかられ、一同な指摘を咫尺の間 | 光確める次代の優民育成に萬澄瀬 | 今また一同が、天島昭下の領別に

皇太子殿下

四部間において破核の無關を仰十六名に對し、十日午前十時宮

獨機、敵機を猛爆

新戦術に米空軍潰亂

れ合せ給ふ大御心のほどなどがた 現状より意能一人深く、楽趣に囲 はからずも列立年間の光統に浴 に思い極みである 師範學校長 卅延機動部隊と相呼吸し敵の意義 部隊は機械の水路を巧に利用した

半衛内第一爾磯福に参集、この日 行機の要失は日に増しその数を増 アルベルト・フレイタグ少佐は次 加してゐる、右についてデー・エ

| 軍急降下爆撃機隊ならびにメッサ に呼吸して活躍を置行し、クバン ーシュミット版面機験は地上作戦

國で赤軍原車部隊と自兵隊を演じ 方で製拗な攻撃を繰返したが、場 職事十六台を整破するとともに対 軍の反映に遭つてこれは完全に挫 八日赤軍は終日クバン地區南

ト・フォン・ハンメル大佐は東部ペー通信社の 従軍記者 エルンヌ バン 主導權確保 地區戰況活潑

一散級の服況に関し、九日次のやう 環軍はこの方面の重要地點一箇所 一攻勢を企圖してゐることを探知し その大部を四敵せしめた、戦闘後 てこれに猛攻を加へ白兵威ののち 區のリシチャンスク方面の赤町が ・顕電が兵部隊はドネツ中部地

州艇廿一隻を大破した

を企闘せる赤虹に猛攻を集中して

解した

を占護令後における赤蛇の妄動を一類として漫響を加へたがイタリー「ドイツ病院配」生が七日北次洋を

數週間にイタリー病院副に勤し数

を開始派肌を逐次駆迫中である。 郷垣はこれに徹底野観智を與へて 赤原は午後に至り猛反路に出たが の有力部隊に對して八日午前行動 一、オリヨール南方の郷軍は赤軍 封殺してゐる 院船盲爆 関重なる病 重抗議提出 に對し級軍抗職を提出した、抗議

四一株の宗に福勲軍の占領下にあ

同地方の海地および飛行場を

りに病院殿に盲滅を加へてゐるが 【ベルリン九日同盟】反権助空軍 獨病院船をも繋ぶ かはらず不法機能をうけたが巧妙。 た、信時観界は良好でかつ病院風

で
赤十字
社
関
酸
を
明
確
に
激
度
し
て

**単において、わが近は反移航軍と** 日慶裘=チュニジャ酸級の北部地 【ローマ九日问盟】伊银司令部九 に陣地死守 伊軍、頑强

消

鼻の惡い人

八は

一必ず頭が悪い

がら爆弾を投下粉砕しようこ の指揮官機の頭上に飛椒した を機構して選ば、右空国部隊 この版法は過般系空軍がブ 來ないつた、要祭団は今後も この既法を返納使用するとい の機能効果を繋げることが出

行四集圏軍と隣接して常に相剋を 低下、戦力の減退体厳ふべくもな たのであるが、おが作戦の多妙、 新大郎の歩代じより毎飜取徴はい、即待される、なだ谷大郎な途中伊めたである「登庫、今天田」のて途げ概ふ風途の戦と促し去う「りだが太郎を除す所なく理論せる「鹿風器は一般と飛化されるものと」が定である「登庫、今天田」 名目を喪失した東亚反逆軍の政意 時年の敗闘はさるごとながら抗感

る治費に具機化され、日前一一勢漁賃に急乗十五日ころ開京論の

肖家灣に奇襲上

湖南戦線一敵の退路完全遮斷

「湖州前局の○十日同里」河巡線北端の吹き海域、竪域中の力が南端繁地域に相呼感し独画行動中の○中 家の京域なの○陸の升速で使ねて河巡線・区域壁、突前の水上機動によって河巡線中央半 談を迂回し、力日朝安都南方十四キロの背景域での他変響所より域の指面と、一種では上海に成功、南海海上清部隊と威域の選手を遂げ、水路よりする破球路を安全に悪滅した。 るべきののなく只管敵は心路を漱一たのである。高級であつて難後敵の抵抗には見一奏後かのである。 血染らずしてが取するに至つたの 安郷、南敷、南山は敵最後の所 込まれた幽四萬の河命は洞庭湖のる幅か數平方壁の祝沼地群に過ひ 一族成かのいづれがに追びつめられ 漢層と比するか、あるひは降伏か、 チュニジャの限局に崩して日本の

石首、別池口の戦回は今や淡い事

、かくて彼らの破断した単容、

樞軸軍、

、凄慘

0

こ化したのである、泥潔器を設す

|同盟||獨軍省局は||ニニジャ最級における最も破別な|

岬附近なほ

最も議師な歌師を行つ光結果地域

である、スピゼルタを搬送した福

谷大使赴任の途っ 【東京電話】 | 中國参阪を実機とずるわが對産派 日華關係强化

はすでに数日前から開始されてゐ たもので、すべての重要な単語施 は言に至った、勿臓石の撤退逃断 は途にピゼルタを搬出するの目む の職職政会、日職館時に優別法令 ・チエニジャ中部ならびにお部の「戦車がようかり合ひ、鋭と 観と ・野工ニジャ中部ならびにお部の「戦車がようかり合ひ、鋭と 観と ・変観号することが出來を、戦車と 車除および経営部隊をもつて基 の数が車を迎へうら忽ら、その五き砂酸を従いて押し寄せる百廿台 この悪機な死闘は、質問を絶する ける極いで高射で家の一部際の近

は早くも 洞庭湖北西端の 要領安 「で総形がとなり南敷の如きは高と「参事官を解向し独任の途についた」へきであって新政勲遂行の衛に笛「下の成第二版および永第五項はテ」るいは戦勲を振い、あるひは至朝に出て疾風の如く南戦八日早帰に「大助衛を来し刺へわが髭紋によっ」十日午前九時東京後太田同大便徹。の施策がさらに戦力に推進さる。 | 同地區におけるアンダーソン艦 音を聴説、途に及ばぬと見るやあに出す て射柱距離を開くため後退が出水 石部院は接版の瞬句教料が切れ

さらに、このほかテユニス附方

軸距は男政なる防服を止めてゐな に至る相當服い地域においても個 アン、アンフィダビ るとの用出に耐しても英國政 外務解令(十旦)

青年歌 我等は兵に 永田統次郎 前幹總濟府・朝鮮軍報道部抽席

と農心四曲

(定認省部文)

た 段 (久本支智)で、 段 (久本支智)

申山獺一郎氏(朝鮮石油常務) 東役習出席のため十一日『必 (政務六額長) 周 服田 利 海ゆ b ば日本合唱図 抗 <sup>着</sup>カ

野棚の家でも称りの方は吹ドクト 「人を影響する」 コ・フ・エー・ 歌曲 が出く人、 部が部に乗く起席を 出か一番よか。 母家の自然付けた を取信の人、 物の多りの物にの人。 日本の一番よか。 母家の自然付けた 一部大しい人、 恋家が、 母家の自然付け 一部大り、 母家の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然の自然を表す。 ○手軽に治したい方へ 無代進星 影響分克可名於 明 野 支所 京城府 東京 日本橋 日 本 水 南東京 6日本橋 日 本 水 南東京 6日 安 店 巴 上 がは自う場に人、戦闘智・計算制の児童が対を結便する人、難に大量のADと対ルシウムの環境が人、特に大量のADとガルシウムの環境で必要とする人々に治好の民語がコン 摩校學性品 を強った

キングレコード改め、特険能験質 工 音 盤 Λ 品本の産特 響れの

の酵芳 2 • 北座鮮朝

肺結核は 早期に治せ「元の数」

へた結果、ソ 沙南國の紛争は全く 政権外相ラチンスキーが反駁を加

ヘデー氏の路路演説に對し、こ今 【ストツクホルム九日同盟】フ

町保神田神京県 都品業スルア M209

大切に

時節柄

このやうに外側は色々研族

軍職のが関も高らかに一志願兵が 初度の街を行く、先頭には「第一

朝所出破をとげたのが宏年の十二一類人への意思を備へ駅に蹴くその軍忠誠者訓練所が平瀬に既史的な 月、猛烈な戯の訓練は一概の日本

温朗を促ばせて迎へた大野學務局

步武堂々 第二志願兵訓練生入城

る赤酸に應くて總督府第二特別陸 せて強々たる進軍だ、半島の燃ゆ 答して 半島の繋を縁の 陽に輝か 東京電話】畏くも皇后陛下には 御養蠶始の御儀



「「大学」では、「大学」では、「大学」では、「大学」では、「大学」では、「大学」では、「大学」では、「大学」では、「大学」では、「大学」では、「大学」では、「大学」では、「大学」では、「大学」では、「大学 ため、全訓練所生は五日から毎日

豕なき見ら

最終日の愛の慰安會



進すべきを深く悟り大野窟 g 引 道郷により進んで職域整公に邁 道郷により進んで職域整公に邁

支等の代表としてFP首に塗る失戦。 行に示すべきである、投等はこん の 成別を推覧を推覧を推薦を指述者主義の 街 | 取得したが、月繁氏は治に関し次維護が信ぎより推薦した。

に自然の

協力者

東南北同語文明 東京 (東京 ) 中央 

歴は、対馬 大阪市東區高麗樹至丁目、東京市日本郷区小井町二丁県、門製業株式會社 

曲の第一人者

座

Series.

店唐作源本山

高列取於一時列取解網片團式林 店商基國橋高 別內20-0-大三時間和顯中小八一日三甲茲傳輸新









ふの

市況 (士)

特送高段若勝拔戰

指揮し、山上の命派を勝 が、中職のかられ。かは、 それへ取めかられ。かは、 な中職、中職のふた手を がし、中職のかた手を

と語り、本興へ踊るやいな、雑

食紙のしにす? の水取た粉に

われ





大相撲夏場所

立つた一行は六時学、初夏の整系立つた一行は六時学、初夏の整系

軍人援護倉朝鮮本部では軍人援撃

軍援ポスター圖案募集

川南一〇一四○▲帝國

中に無くてはならぬ『水』であつ中に無くてはならぬ『水』であつ も切るであらつ』

がつた。討いを降りて

色日

一成 一次 第1421 吉川 英治(